



翁島小学校だより

第19号 H30. 1. 23発行 文責：校長 星 善樹

だんごさしをしました。

1月10日、一足早く、小正月行事の「だんごさし」をしました。子どもの頃の行事として心に残っていたので、是非、子ども達とやってみたいと思い立ちました。2時間目の授業が終了した休み時間に全学年の子ども達にだんごを丸めてもらいました。15分の休み時間でしたが、学年ごとにだんごの色を分担して手際よく丸めました。(1年生は黄色、2年生は赤色、3年生は緑色、4年生、5年生は白色、6年生は白とオレンジ色) だんごを丸めている時、長谷川先生が、おばあちゃんの話をして下さいました。長谷川先生のおばあちゃんは、だんごさしの時、だんごを丸くまるめるだけでなく、狐の形を作って、その狐に稲穂をくわえさせて飾ったり、スズメの形を作って飾ったりしたそうです。そう言えば、以前山潟小学校に勤務していた時、湊志田地区では、餅で白へびを作って飾っていました。みんな、沢山作物が獲れるように、幸せになれるようにという願いを込めて行っていたのでしょう。だんごさしには、豊作や家内安全、豊かな生活をという願いが込められています。翁島小学校の子ども達が安全に生活できますように、そして、たくさん良いことがあるようにと言う願いを込めて行いました。そして、昼休みまでに、丸めただんごを茹で上げ、みんなでみず木に差しました。みず木の枝の新芽を欠いて、枝をとがらせてから差しました。みず木の枝はとても柔らかく、新芽を欠くのは、難しかったようです。丸めただんごは、すべて差しました。きれいな餅花が咲きました。今年も良いことがたくさんありそうです。こうした伝統的な行事は、できるだけ子ども達に経験させたいと思います。



だんごを丸める



だんごを差す



◎ そして、野口博士の生家でも「だんごさし」をしました。

1月11日、1年生と3年生が近くの野口記念館に出かけ、野口博士の生家でだんごさしをしてきました。学校でだんごを差した「みず木」とは、比べられないくらい大きくて立派なみず木に、赤や白、黄色、緑など色とりどりのおだんごを飾りました。その他、ミカンやふなせんべいなども飾りました。1年生は、下の方の枝に、3年生は、脚立に上がって上の方の枝に飾りました。出来上がったみず木の美しさに1年生のY.Rさんは、無言で見とれていました



野口博士の生家に飾られただんごの木

ミズキの枝に団子をさす児童

野口博士生家で
色とりどりに
猪苗代
にある野口博士の生家
で団子さしを行った。
小正月を祝う毎年恒
例の催し。野口博士の
母校である町内の翁島
小の一、三年生約二十
人が参加し
た。

ミズキの
枝に白色や
赤色、黄色
黄色など色
とりどりの
団子を飾り
つけた。児
童はそれぞ
れの願いを
込めて枝に
手を伸ばし
ていた。

福島民報 2018年 1月14日(日) より

英世の生家で
団子挿しを体
験する児童

団子挿し体験

猪苗代町の翁島小児童
は15日まで、同町の野口
英世記念館内の英世生家で
小正月の伝統行事「団子挿
し」を行い、飾り付けを体
験した。
同校の一、三年生計約20
人が参加。白や赤、緑、黄
色の団子や、タイやひよ
うたんなど縁起物の形をし
たお菓子、ミカンをミズキ
の木に華やかに飾り付け
た。

英世生家で翁島小児童

福島民友 2018年 1月16日(火) より

◎ 全校生であいさつ！！



2学期末に保護者の方にお
願いしたアンケートの結果で、
あいさつがもう少し進んででき
るようになると良いということがあ
りました。そこで、それを解決する
ために良い方法はないかと職員で考えました。その結果、3学期から登下
校の際に校長室や職員室に全校生が挨拶をしてはどうかということになり
ました。実は、2年生は、以前から登校した時、そして下校する時、職員室

や校長室に立ち寄り元気に挨拶してくれていました。そのうち1年生も
2年生を見習って、挨拶に立ち寄ってくれるようになりました。3学期から
これを全校生でやろうというわけです。3学期の始業式の時に、生徒指
導の大桃先生から子ども達に提案しました。子ども達も賛成してくれま
した。そして、今は、1,2年生だけでなく、全校生が挨拶に立ち寄ってく
れます。しかもみんな笑顔で来てくれるのがとてもうれしいです。「おー今日
も元気だね。」「あしたも元気に会おうね。」「どうした？ちょっと元気がな
いようだけど・・・。」など、子ども達一人一人と会話をする機会にもなっ
ています。とても良いことです。継続していくよう励ましていきます。

